



問 今後4年間のまちづくりをどう考えているのか

答 20年先を見据えた持続可能なまちづくりを目指したい

少子高齢化での人口減少、学校統合問題、介護福祉分野からインフラの整備など課題は山積みですが。

問 4期目の町長は、今後4年間をどう取り組むのか。

町長 ①小さくても魅力と活力にあふれるまちづくりを目指したい②財政負担が大きい上下水道の広域化、共同化を進めたい③学校施設を含む公共施設の再

編、統合④人口減少問題における定住化対策⑤第6次五霞町総合計画との整合性を図りながら、都市計画マスタープランを策定していく。20年後を見据えた広域的な商業、工業、流通、これらを中心とした市街地形成も進めていきたいと思えます。

問 町の魅力度アップの手段、手法が足りないのでは。

町長 広報戦略グループを課と

して立ち上げて、皆さんからいろいろなご提案をいただけるようなシステムを作っていきたいと考えています。

問 財政状況は、危機的状況なのか、厳しい状況なのか。

政策財務課長 社会情勢と今後の町の事業の進め方によって、その程度が違ってくると考えられます。

問 町道5号線、7号線の整備はどうなっているか

答 5号線は令和3年度末の完成を見込み、7号線は令和4年度から進める

問 町道5号線（新4号道の駅交差点から町道8号線まで）の現状と今後は。

都市建設課長 平成25年度から着手、町の最重要路線として取組み、令和3年度末の完成を見込んでいます。

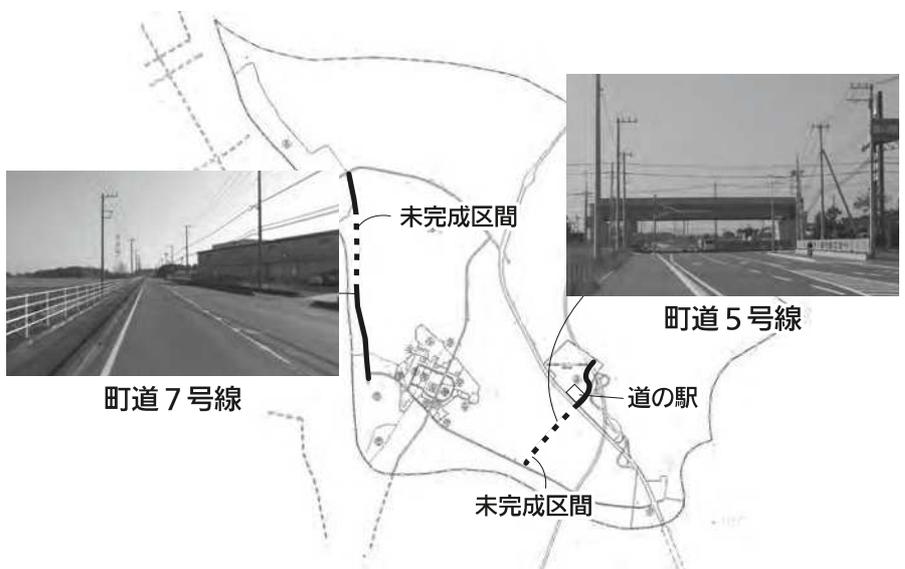
件補償を行い、令和7年度より整備を行う予定です。

問 重要度、優先度はどう考えているか。

町長 優先度として、町道5号線を早期に完成させて、次に町道7号線に入りたいと考えています。

問 町道7号線の現状と今後は。

都市建設課長 昭和48年に元栗橋押出工業団地と小手指大崎工業団地を結ぶため都市計画決定された舟渡橋（元栗橋）からキューピー（株）地先までの1,360メートルの未整備区間については、平成27年度に路線測量と地質調査の実施、平成28、29年度に道路の詳細設計を実施し、令和4年度より社会资本整備総合交付金の事業認可を受け、その後、用地買収、物



※他に、道の駅について問いました。